



にぎわい東北
— つなげよう、ふるさとのチカラ



2018 年 4 月 5 日
株式会社コックス

お客さまの真心を“さくら”に託し、被災地に寄贈

2018 年 3 月 25 日（日）開催

「さくら並木プロジェクト植樹会 in 石巻市牡鹿半島」参加レポート



株式会社コックスは、東北復興支援活動の一環として「さくら並木プロジェクト」に参加しています。2018 年 3 月 25 日（日）、宮城県石巻市牡鹿半島で開催された桜の植樹会に当社社員が参加しました。「さくら並木プロジェクト」は 100 年先に津波被害を伝えるため、津波の到達した地に桜を植樹する活動です。今回は晴天の中、地元の方々や県内のボランティアの方々など約 60 名の皆さんと合計 41 本の桜を植樹しました。当社は 2014 年より東北の各地に桜を植樹し、これまで寄贈・植樹した桜はこの度、累計 10 本となりました。



↑ 植樹記念の石柱お披露目



↑ 植樹の様子



↑ 餅つきで交流した地元の方々と一緒に

◆ さくら並木プロジェクトとは

「さくら並木プロジェクト」は、東日本大震災時に津波被害の風化防止と、将来起こりうる津波発生時の避難目標とすべく津波の到達した地にさくら並木を醸成する、NPO 法人さくら並木ネットワークの活動です。当社はこの活動に賛同し、2014 年より参加しています。毎年、当社ブランドから支援商品を販売し、1 枚につき 10 円を桜の苗木の寄贈・植樹として支援しています。

◆ 「さくら並木プロジェクト植樹会 in 石巻市牡鹿半島」概要

日程	2018 年 3 月 25 日（日）
開催場所	宮城県石巻市牡鹿半島 小網倉浜高台移転地
スケジュール	9:30 仙台駅集合
	12:00 餅つき大会
	13:00 植樹会・記念撮影
	16:30 解散



↑ 丸で囲んだ部分が、牡鹿半島
仙台より車で 2 時間ほどの場所

◆植樹会の様子



↑植樹前に地元の方々と餅つきを行ない、交流しました。



↑奥に並ぶ苗木には、害獣予防のカバーがかけられています。



↑参加当初から変わらない石版メッセージ「お客さまの真心を添えて」



↑植樹方法の説明を真剣に聞く様子



↑苗木の根元に優しく、肥料を混ぜた土を被せます。



↑桜は乾燥を嫌うので水を十分に与えます。



↑支柱と苗木を固定し、倒れないようにします。



↑植樹した苗木の前で記念撮影

餅つき大会では地元の方々と交流でき、とても有意義な時間を過ごすことができました。被災された方の生々しい体験談を聞き心が痛む瞬間もありましたが、復興から発展に向け頑張る皆さんに多くの元気をもらえました。

植樹会は晴天の中、ボランティアの方々に教えてもらいながら桜を植樹しました。この辺りは鹿が多く生息する地域の為、鹿除けにカバーをかけ苗木を守ります。当日参加した従業員からは「自分の目で現地を見ることで、感じることや考えることが沢山あった。次の植樹会もぜひ参加したい。」との声が聞かれました。

◆宮城県牡鹿半島 小網倉浜地区について

小網倉浜地区は震災前、養殖（牡蠣やイワシ）が盛んな地域でしたが東日本大震災の大津波により壊滅的な被害を受け、地区内での被災率は78.6%、14名の住民が津波の犠牲になりました。以前は人口が226人56世帯でしたが、現在は人口流失なども重なり約半分程の人口になってしまいました。小網倉浜高台移転地は、若い世代の流出が激しくご年配の世帯が多いため、地区の魅力を見出し定住者が増えることを目標にしています。

小網倉浜地区、現在の様子→奥に海が広がっています。



◆さくら並木プロジェクト 2018 支援商品

当社は「さくら並木プロジェクト」支援商品を、2014年度より当社主要ブランド「ikka（イッカ）」より販売しています。お客さまに商品をお買い上げ頂くことで、1枚につき10円が苗木やメンテナンス費用としてNPO法人「さくら並木ネットワーク」に寄付されます。今年度の支援商品は2018年2月23日（金）に全国の「ikka」にて販売しました。メンズ商品は、編み目がボコボコとしているのが特長のカーディガン、レディース商品はバック部分にねじり加工を施したカットソーです。



↑左：メンズ 右：レディース

コックスはこれからも、一日も早い東北の復興と発展を願い、ファッションを通じた支援活動を続けてまいります。